



目次

- 2～3【特集】… 山梨県令和元年度6月補正予算の概要
- 4～5【景況】… 各業界の景況(5月)について
- 6【事例】… 組合活動紹介「ACTIVE KUMIAI」
経営者のひとこと「オピニオン」
- 7【報告】… ものづくり補助金事業採択結果
- 8 // … 青年中央会の活動
- 9 // … インターンシップ事業
事務連絡協議会の活動
- 10 // … 実習生受入組合連絡協議会の活動
- 11～12【情報】… 各種お知らせ「情報 BOX」

昭和36年4月10日第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

定価 100円



【特集】 山梨県令和元年度6月補正予算の概要

読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

山梨県中小企業団体中央会

発行所

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237) 3215 FAX 055(237) 3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp> e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



山梨県令和元年度6月補正予算の概要

「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」 の実現に向けて

山梨県は、長崎県知事就任後初となる政策予算(401億8200万円)(当初予算4348億円)を発表した。ここでは、183の事業(うち新規事業128事業)のうち中小企業関連・商工関連を中心に抜粋して紹介します。

1 攻めの「やまなし」成長戦略

機械電子産業の集積や果樹を中心とした農産物、豊かな森林、富士山をはじめとした観光資源、リニア中央新幹線の開業など、本県と強みを生かして、県外や海外の需要を積極的に取り込むとともに、時代に対応した産業の振興を推進し、県内経済の活性化を図る。

●リニアやまなしビジョン(仮称)策定事業費 55,357 千円

リニア中央新幹線がもたらす経済効果を全県に波及させるため、民間企業や研究機関等の誘致に向けた基本的な指針となる「リニアやまなしビジョン(仮称)」を策定する。

●森林環境譲与税基金事業費 30,615 千円

市町村が行う森林整備等への支援と森林整備を担うべき人材の育成・確保、森林の有する公益的機能の普及啓発、木材利用の促進等に関する施策を実施する。

■県産材需要拡大推進事業費補助金 2,000

東京圏における県産材の需要拡大を推進するため、試作品の開発に対し助成する。

補助先：木材加工会社等、補助率：県 1/2、事業主体 1/2

●商工業振興資金貸付金 333,333 千円

中小企業の生産性向上や働き方改革を支援するため、新規融資制度を創設する。

■成長やまなし応援融資

融資枠：1,500,000、利率：年 1.5%、貸付期間：設備 10 年 運転 5 年、商工業振興資金総融資枠：22,000,000

(利率については、経済動向等の変化により、変動する場合もある。)

●「メディカル・デバイス・コリドー」計画策定費 14,425 千円

機械電子産業の医療機器分野への進出を支援するとともに、医療機器産業の集積に向けた計画を策定する。

●やまなしイノベーション創出事業費補助金 40,000 千円

中小企業が行う成長分野への進出に向けた研究開発及び小規模事業者が行う経営革新や事業承継に向けた取り組みに対し助成する。

■一般枠(債務負担行為)

事業内容：新技術、新製品の研究開発、期間：元～2年度、限度額：40,000

補助率：県 1/2 事業主体 1/2、補助額：1 件当たり 20,000,000 円上限

■小規模事業者枠 40,000

事業内容：新技術、新製品の研究開発 機械、設備の導入販路拡大等、限度額 40,000

補助率：国 1/4 県 1/4 事業主体 2/4、国 1/3 県 1/3 事業主体 1/3

補助額：研究開発 1 件当たり 5,000,000 円上限

研究開発以外 1 件当たり 500,000 円上限

(経営革新計画に基づく場合 1,000,000 円上限)



●やまなしブランドプロモーション支援事業費 4,447 千円

やまなしブランドの形成を図るため、地場産業に係る地域の優れた資源を活用した産地のイメージアップや国内外での市場獲得等を支援する。

■地域産業サステナビリティ支援事業費補助金 4,000

補助先：地場中小企業者等、事業内容：環境負荷の軽減や持続可能性に配慮した産地ブランドの形成、販路開拓等

補助率：国 1/3 県 1/3 事業主体 1/3

② 次世代「やまなし」投資戦略

子どもたち一人ひとりに向き合った、きめ細やかで質の高い教育が受けられる環境を実現させ、地域の産業との連携などによる産業人材の育成を進め、本県の次代を担う人材の育成・確保を図るとともに、スポーツ・文化の振興を進める。

●やまなしU・Iターン就職支援センター事業費

8,970 千円

若年世代の定住人口の確保を図るため、移住及びU・Iターン就職等に関する情報を提供する相談窓口を設置する。

設置場所：「JOB HUB SQUARE」3F(千代田区大手町)、開設日：8月(予定)

受付時間：月～土 午前11時～午後7時(土曜日は月2回)

●やまなしで働く魅力情報発信事業費

3,323 千円

若年世代の県内就職を促進するため、学生や保護者に対して、本県で働くメリットや魅力について情報発信する。

事業内容：座談会の開催、保護者向けリーフレットの作成等

③ 活躍「やまなし」促進戦略

子育て支援の充実や働き方改革の推進、就業環境の整備などを進めることにより、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、家庭の事情等に関わらず、誰もが生涯を通じて、その人らしく働き、地域で活躍することができる環境づくりを進める。

●外国人材受入・共生推進費

20,885 千円

県内産業において深刻化する人手不足に対応するため、外国人材の受け入れを促進するとともに、共生社会の実現に向けた取り組みを行う。

■外国人材受入企業支援事業費 13,262 [事業内容：企業向け相談窓口の設置、アドバイザーの派遣、研修会の開催等]

■外国人生活支援方策調査研究事業費 6,877 [事業内容：在留外国人生活実態調査、民間支援状況調査の実施等]

■外国人材受入・共生ネットワーク会議開催事業費 746

●女性活躍応援プロジェクト事業費

6,355 千円

女性が活躍できる職場環境づくりに向けた企業の主体的な取り組みを支援する。

事業内容：女性活躍企業等認定制度の創設、アドバイザーの派遣、研修会の開催等

●外国人介護人材受入支援事業費

2,200 千円

介護分野において深刻化する人手不足に対応するため、外国人介護人材の就労・定着に向けた取り組みを支援する。

事業内容：研修会の開催等

④ 安心「やまなし」充実戦略

日本一の水準にある健康寿命の更なる延伸など、誰もが安心して暮らすことができるよう、保険・医療・福祉の充実を図るとともに、自然環境の保全や地球温暖化対策の推進など、持続可能な社会への転換を進める。

⑤ 快適「やまなし」構築戦略

産業や生活の基盤となる交通ネットワークの整備を進めるとともに、防災・減災を含めた災害時の対応の強化や、暮らしを支えるコミュニティの維持・活性化の支援を図り、ハード・ソフトの両面にわたり、産業や生活の基盤づくりを進める。

●公共施設等適正管理推進事業費

1,409,682 千円

公共施設等の総合的・計画的な管理を推進するため、長寿命化改修等を行う。

■長寿命化改修事業費 1,363,550 [実施箇所：美術館外 計47施設]

■耐震診断事業費 35,572 [実施箇所：育精福祉センター外 計11施設]

■ユニバーサルデザイン化事業費 10,560 [実施箇所：科学館外 計3施設 24]

※詳細は、山梨県HPをご覧ください。

※また、山梨県の中小企業向け制度融資につきましては、山梨県HP「中小企業金融のしおり」をご確認ください。

業界の動き



概況

5月の山梨県内のD I 値は、全体で売上高は▲6ポイント(対前年比▲14)、収益状況は▲16ポイント(対前年比▲8)、景況感は▲22ポイント(対前年比▲22)となり、いずれの項目とも昨年より悪化した。

製造業では、売上高▲15(対前年比▲30)、収益状況▲30(対前年比▲25)、景況感▲35(対前年比▲35)と大きく悪化、飲食品製造では概ね対前年比同等の状況であったが、自動車部品やスマートフォン等半導体関連の工作機械部品製造・加工業界では米中の貿易摩擦の影響による経済の低迷を受け、在庫調整や受注の落ち込みが続く状況であった。

非製造業では対前年比で売上高±0(対前年比▲3)、収益状況は▲7(対前年比+3)、景況感▲13(対前年比▲13)と、製造業に比べ落ち込みは少ないが、先行きの不安から景況感は悪化した。

製造業と同様に、米中の貿易摩擦の影響から中国の景気減速が顕著となり、古紙、廃プラ・金属製廃棄物、ジュエリー製品等の取引が減少傾向にあるとの報告があった。

また10日間の大型連休があったが、連休中稼働しない業種では売上が減少、宿泊やタクシー業界においても連休中の利用者増加にはつながらず売上減少、燃料費等の高騰から収益確保が難しいとの報告があった。

業種を問わず仕入れ価格、燃料費、人件費等のコストの上昇傾向が続いており、世界的な経済低迷の予兆から景気回復の先行きを懸念する声が高まっている。この中で消費税増税が実施されることになれば、さらに景気は悪化することが予想され、中小企業者の経営は厳しい状況となる。

今後の経済情勢を的確に把握し、必要な施策等情報提供を強化していくものとする。

業界からのコメント

■製造業

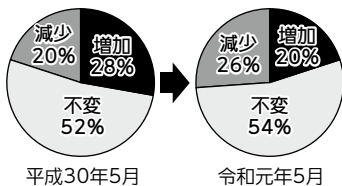
食料品（水産物加工）	ギフト関係は低調だが、ホテル・レストラン・居酒屋用の業務用及びおせち原料が好調で、全体の売上高は前年同月比で106.9%と好調に推移した。
食料品（洋菓子製造）	自社製品の輸出は好調だが、量販店・専門店向けは連休前の需要の反動から大きく落ち込み、前年比93.1%。OEMは冷凍ケーキが低調であったが、焼き菓子が好調で115.7%。全体の売上高は前年同月比104.3%となった。
食料品（麺類製造）	笛吹市新名物「ラーメン×ほうとう」の「ラーほー」を取り扱う店舗が増加傾向。新しい麺の食べ方の提案が、業界の発展につながることを期待している。
食料品（パン・菓子製造業）	6～8月は閑散期だが、9月～年末の繁忙期に向け人材の確保が課題となっている。
食料品（酒類製造業）	日欧EPA発効後はEUからの輸入ワインの売上が伸びたが、その後の影響は小さかった。消費者には日本のワインの良さを認知してもらえており、業界としては消費者のニーズに応えることが重要だと考えている。
繊維・同製品（織物）	環境省が行う熱中症対策として男性の日傘活用推進により売り場では反応があるようだが、傘地の生地生産はすでに終了している。ネクタイは秋冬のOEM注文待ちで、今はヴァンフォーレ甲府等からのスポットで入る注文の対応を行っている。
木材・木製品製造	仕事量は新年度に入り増えてきたが、人材不足が課題となっている。
窯業・土石（砂利）	公共工事の発注件数により、需給量・売上高の地域差が大きい。公共工事の増加に期待している。
鉄鋼・金属（金属製品製造業）	景気の悪化が続いている。いつまで続くのかわからない状況。
鉄鋼・金属（金属被覆・彫刻業・熱処理業）	世界経済の低迷や米中の貿易摩擦の影響から、中国への自動車部品・半導体設備の輸出の減少が続く。今後も落ち込み傾向であると考えている。
一般機器（工作機械部品加工業）	雇用数は堅調に推移。倉庫の増設等の設備投資も続いている。
電気機器（工作機械部品加工業）	大型連休明けの受注増加を期待したが、4月より状況は悪化した。半導体関係に限らず全体的に動きが悪くなっている。
宝飾（貴金属）	受注の減少はしばらく続くと考えられる。

次ページにつづく

■非製造業

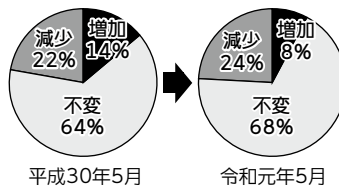
卸売（紙製品）	米中貿易摩擦の影響による中国の工業生産の落ち込みにより、古紙の需要も減少。同時に国内需要も落ち込み、製紙メーカーの生産減により古紙問屋は在庫増となっている。今後さらに減速が続けばリーマンショックよりも落ち込むのではないかと懸念している。
卸売（ジュエリー）	国内の流通は悪く、回復する兆しがない。6/20～23日に開催される香港ジュエリーショーでの中国バイヤーの動向に期待している。
小売（青果）	連休中の売上が大きく、前年同月比5.7%増加した。しかし連休後の売上は減少、梅がシーズンだが不作のため高値で推移している。玉ねぎは小玉傾向で安価で取引されている。
小売（電気機械器具小売業）	エアコンの早期出荷等が活発に進み、対前年比で大幅に増加。しかしエアコン以外の主力商品が減少傾向で、全体の売上高は前年同月比5%増加に留まった。エアコンの在庫確保等で資金繰りは悪化している。
商店街	全体的に仕入価格が上昇し、収益状況を圧迫している。10月の消費増税による影響を懸念している。
宿泊業	大型連休の前半は満室が多かったが、後半は空室が目立った。人手不足が課題となっている。
産業廃棄物処理	中国の廃プラスチック・金属の輸入禁止により、日本の廃棄物の行き場が無くなり処分場が悲鳴を上げている状況。このため処分費の値上りにつながり排出業者の負担が増加している。処理単価の問題のみならず、処分業者が搬入制限を行い廃棄物の行き場所がなく、大きな問題となっている。
一般廃棄物処理	中国の廃プラスチックの輸入禁止により、国内での処理が滞留する問題を受け、国は産業廃棄物として排出された廃プラを一般廃棄物の処分場で受け入れを行うよう方針を示した。
警備業	工事の受注が減少する閑散期となり、働き方改革に伴う有給休暇の取得や警備員に対し研修教育を実施しているため、売上高、収益状況は悪化した。6月までは公共工事が極めて少ない状況である。また賃金の引き上げを行うが応募者は少なく、警備員不足の解消をどのように図るかが課題である。
自動車整備業	大型連休の影響から売上高は減少した。
建設業（総合）	5月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ、件数17%、請負金額27%それぞれ減少した。前月は大幅な増加を示したためその反動か。今後の状況を注視していく。
建設業（型枠）	県内の仕事は堅調に推移しているが、比較的仕事が少ない長野県・静岡県等から職人が来ており、人手不足は感じない。公共・民間工事ともに繁忙であるが、秋以降は不透明である。
建設業（鉄構）	高力ボルト不足による工期遅れに対応するため、受注調整が行われている。鉄骨の建て方ができないことにより鉄骨を使わない工法への変更が心配される。
設備工事（管設備）	建設業での休日取得状況は4週6休が最も多く、労働者不足の現状が表面化している。厳しい工期や労働者の収入減少等を考慮するなか、働き方改革への取り組みに頭を悩ませている。
運輸（タクシー）	例年の5月に比べ大型連休の影響から、乗客数が減少した。（特に夜間の利用者が減少）燃料費の価格上昇が続く。
運輸（トラック）	大型連休による稼働率の減少から、売上高が10%悪化した。

売上高（前年同月比）



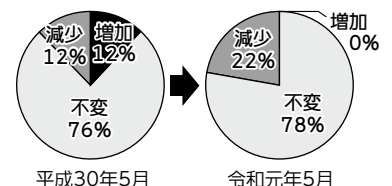
- D I 値
▲6 (前年同月比▲14)
- 業種別D I 値
製造業 ▲15 (前年同月比▲30)
非製造業▲ 0 (前年同月比▲3)
- 前月比D I 値
製造業 ▲20
非製造業▲ 7

収益状況（前年同月比）



- D I 値
▲16 (前年同月比▲8)
- 業種別D I 値
製造業 ▲30 (前年同月比▲25)
非製造業▲ 7 (前年同月比+3)
- 前月比D I 値
製造業 ▲20
非製造業▲ 0

景況感（前年同月比）



- D I 値
▲22 (前年同月比▲22)
- 業種別D I 値
製造業 ▲35 (前年同月比▲35)
非製造業▲13 (前年同月比▲13)
- 前月比D I 値
製造業 ▲10
非製造業▲ 0

組合主催の展示会を初開催 新たな素材や施工技術への対応力を高める

山梨県板金工業組合

山梨県板金工業組合（田中仁理事長 組合員 72 社）は 6 月 7 日、笛吹市石和町の「ホテル石風」で、建築資材や工具メーカーの協力を得て組合主催の展示会を初めて開催した。これまで組合員とメーカー各社が一堂に集まるのは新年会や総会後の懇親会などに限られ、これまでも各メーカー主催の展示会を組合員が個別に見学するにとどまっていた。そこで、メーカー各社の製品や新技術を知り、組合員の施工技術や売上の向上につなげるため、田中理事長のもと執行部が中心となり企画し初めての組合主催の展示会となった。

かつての建築板金はトタン屋根や雨どい等の施工が中心であったが、現在では建物の外回りも板金業者が外壁材により施工することも増え、あわせて、様々な素材や施工法の開発により、建築板金業界は新素材・新施工法に対応した技術力の向上が日々求め

られている。

今回の展示会には 16 のメーカーが出展し、日頃現場で使用する屋根材や機具・工具などが展示された。永年同一メーカーの製品を愛用する組合員もいるが、他社製品や工法等の情報を得ることで仕事の幅が広がり作業の安全性や効率性の向上に寄与するケースもあることから、参加した組合員はメーカー担当者に用途や仕様等について熱心に質問するなど、有意義な展示会となった。

今年 3 月に理事長に就任した田中理事長は、「組合の存在意義や必要性が問われる中で、組合が主体となって実施することに意義があった。こうした活動が組合の結束力や組織力を強固にし、組合員外の板金業者にも認識してもらい組合加入の動機付けにもなる。今後も組合員にとって必要とされる組織として、執行部一丸となって積極的に活動していきたい。」と抱負を語った。



自社の製品説明をする出展者



展示会の開催前に出展者に挨拶する
田中理事長(中央)と執行部

人材育成を通じた組織強化

～造園業と青年中央会の未来に向けて～

河野造園土木株式会社 代表取締役社長

山梨県中小企業団体青年中央会 会長 河野 嘉孝 氏



当社は、昭和 48 年 4 月に設立、庭づくり・ガーデニング、外構（玄関廻り・アプローチ・駐車場など）工事、庭の維持・管理、公共造園・土木の業務を行っています。

造園業の素晴らしいところは、庭が完成した時がお客様との長い付き合いの始まりになるということです。季節とともに年月とともにその庭がどんな変化をしていくのか、管理させてもらいながら 10 年後、20 年後の姿まで見ることができるのがこの仕事の魅力です。当社では、社員一人一人に現場単位で担当を任せ、最初のお客さんとの打ち合せから、設計、見積り、施工、完成後のアフターフォローまで全て一人でこなせるようになることを求めています。造園技術を習得するには少なくとも 10 年ぐらひはかかりますが、経験者を中途採用するよりも若い人材にゼロの状態から勤めてもらいたいと考えています。そのため、他の造園会社より社員の平均年齢はかなり若

い会社です。一人でも多くの優れた「造園家」を育てていきたいと考えています。

また、6 月 3 日に開催された山梨県中小企業団体青年中央会の通常総会で、新会長に就任しました。

中小企業は地域の経済循環と雇用を支える重要な役割を果たしています。青年中央会では、若手の中小企業者の連合組織として、それぞれの中小企業が経営基盤を強化し持続的な成長につなげられるように組織や企業間連携を活かした取り組みを強化して行きたいと考えています。そのために、中小企業と組合の次世代を担う若手経営者や後継者育成のための講習会、業種を超えたネットワーク構築のための交流会等を積極的に実施し、会員の連携強化を図っていききたいと思います。

各社の成長発展と山梨県経済の維持拡大のため、各組合の若手経営者の皆さんの新規青年部の創設と青年中央会への加入をお待ちしています。

オピニオン

Opinion

「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」

●●●●● 採択事業者③⑥社が決まる! ●●●●●

国では人口減少等による人手不足に対応するため、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」事業を実施している。本補助金は、中小企業等が行う生産性向上のための革新的なサービスや試作品の開発、生産性プロセスの改善に寄与する設備投資等のための費用の一部を補助することで、中小企業等の生産性向上と競争力強化を目指している。

本補助金事業は 2 月 18 日から公募が開始された。公募の第一次締切では本県から 1 社が採択され、引き続き 5 月 8 日の第二次締切まで公募を受け付けたところ、全国で 14,927 社の応募があった。

各都道府県での地域審査委員会および全国採択審査委員会において厳正な審査を行った結果、山梨県では次のとおり 36 社（第一次締切採択分の 1 社を含む）を採択することとなった。

平成30年度補正

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 山梨県採択案件一覧(36社)

(受付順)

	事業所 名称	事業計画名
1	株式会社飯田製作所	金融機関向け製品の試作品における短納期体制を構築する事業
2	アスフィール株式会社	ITを活用した部活動向けの総合支援WEBアプリサービスの提供
3	株式会社堀江製作所	ロボット機械部品のVA化に貢献する高精度高速切削加工の実現
4	有限会社田中洋装	高精度カメラ搭載自動裁断機導入による柄合わせ高級アパレルの生産性向上
5	株式会社和田精巧	自動運転システム分野参入のための新プレス工程確立と生産性向上
6	株式会社ホーム	半導体市場の拡大に応えるファインセラミックス「切削加工技術」の高度化計画
7	有限会社イー・アイ・エーブラスト	生産管理のシームレス化とベンドCAM導入によるベンディング革新
8	渡辺木工	安全性を重視する発注業者に角の丸みを帯びた家具の効率的な提供
9	名水きのこの里有限会社	生産性向上による椎茸植菌済み原木の植菌請負事業の売上拡大計画
10	忍野工業株式会社	高精度加工技術の習得と量産体制構築による事業拡大
11	有限会社三豊技研	アルミダイカスト部品バリ取り工程のロボットによる自動化
12	有限会社松浦木工	意匠物をスキャンすればCADデータ等で誰でも木工製品を製造できる工法の導入
13	大進自動車工業有限会社	ホイール角度測定器導入による顧客への分かりやすい説明の実践
14	碓井自動車株式会社	先進運転支援システムに対応した車両整備の圧倒的な高品質化の実現
15	丸藤葡萄酒工業株式会社	色、香り、味わいに着目した日本ワイン、特に甲州辛口白ワインの品質向上
16	近藤ニット株式会社	自社ブランド布帛製品の品質の高度化と生産性の向上
17	有限会社フェニックス	急拡大する惣菜市場のニーズに対応した「ごま和え調味料」生産プロセスの改善
18	株式会社スギヤマ	会社知的資産×学会理論×測定機のトリプル効果で品質改善と新規受注に挑む!
19	株式会社丸亀商店	鋼材二次加工の内製化に向けた形鋼加工機導入事業
20	甲信食糧株式会社	訪日外国人向けに山梨県産トラフグを提供する新たなサービスの創出
21	株式会社Cantina Hiro	ニボトルワインの製品化による飲食店、ホテル向け新サービスの提供と需要開拓
22	有限会社シマダ	CNC自動旋盤の導入による品質改善と生産プロセスの革新
23	渡縫織物株式会社	国産コンピュータージャカード機の導入による生産性向上改善事業
24	株式会社ミツワ精機製作所	難加工材0.1mmの積層技術を活用したカシメ方式積層コアへの挑戦
25	都留バッテリーセンター	スポーツテクノロジーを駆使した機器等の導入による新サービスの開発
26	株式会社昭和精工	航空機用通信機器向けマグネシウム合金製部品の加工技術開発事業
27	ハケ岳ホースケア牧場	ウォーキングマシンの導入による馬のリハビリテーションの実践
28	株式会社清月	低生産性を解消する設備投資と、企業需要を掘り起こす新商品開発にて、企業体質を健全化する事業
29	有限会社昭和精機	生産機械用協働ロボットによるワークの自動装着・脱着システムの開発
30	株式会社HARU技研製造工場	精密ロボット部品の複合多面加工機導入によるリードタイム改善
31	株式会社れんけい	山梨県にある未利用資源を活用した商品開発と製造及び販売事業
32	有限会社八光社	美容院向けに特化した純日本製植物由来の染毛剤の海外展開
33	株式会社エスピーダ	切削加工プロセスの機械化による低コスト新製品「逆曲げ型枠」の開発
34	株式会社NEXT	難削ステンレスの高精度加工技術習得による競争力強化と事業拡大
35	株式会社タスクマスター	AIとカメラを活用した工事現場用道路交通誘導システム開発と、高付加価値警備の実現
36	江井ヶ嶋酒造株式会社	海外ワインファンが好む雑味の少ない日本ワイン生産体制の構築

青年中央会の通常総会が長崎県知事の出席のもと盛会に開催

～役員改選が行われ、河野 嘉孝氏が新会長に就任～

山梨県中小企業団体青年中央会

青年中央会の通常総会が6月3日(月)にホテル談露館において開催され、会員青年部から約50名が出席、今年度の事業計画・収支予算の決定と任期満了に伴う役員改選が行われた。青年中央会の新会長には、協同組合山梨異業種交流青中倶楽部の河野嘉孝氏(河野造園土木株式会社/代表取締役社長)が就任し、また新たな執行部も決定した。



長崎幸太郎県知事と青年中央会役員



河野嘉孝新会長

河野新会長は「地域の経済・雇用を支える我々中小企業は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、個々の努力とともに連携や組織による取り組みが一層重要。青年中央会として組合を通じた各業界の発展と経営基盤の強化のため、会員青年部・企業等の経営課題を共有し解決していきたい。」と就任の抱負を述べた。

通常総会後の懇親交流会には、来賓として長崎幸太郎県知事を始め、樋口雄一甲府市長、各経済団体の青年部の代表者、中央会会員組合・団体の若手経営者等約150名が出席し、盛会に行われた。



懇親交流会において挨拶を行う長崎幸太郎県知事

総会に先立つ5月7日に長崎幸太郎県知事を青年中央会の役員が表敬訪問、組合青年部と青年中央会の活動状況や今後の本県の展望について意見交換を行った。その際に、県内若手経営者との情報交換の機会として長崎知事に総会後の懇親交流会への出席を依頼、知事にご快諾をいただき今回の出席につながった。

新役員名簿

参加者は、知事や甲府市長をはじめとした来賓の方々だけでなく、他の青年部会員や若手経営者と県内経済の現状や今後の展望についての情報交換や交流を行い、盛会な交流会となった。



懇親交流会の様子

役 職	氏名 / 所属
会 長	河 野 嘉 孝 (協同組合山梨異業種交流青中倶楽部 青年部会)
副会長	渡 辺 重 也 (一般社団法人日本食肉協会 山梨県支部)
副会長	高野芳太郎 (山梨県塗装協同組合青年部 甲塗会)
副会長	金 丸 哲 也 (山梨県電気工事工業組合 青年部会)
理 事	川 崎 太 (山梨県自動車整備商工組合 AMS山梨青年部)
理 事	石 水 秀 樹 (山梨県造園建設業協同組合 青年部)
理 事	入 倉 政 昭 (一般社団法人山梨県鉄構溶接協会 青年部会)
理 事	千 野 悟 (山梨県板金工業組合 青年部)
監 事	須 田 猛 (山梨県自動車整備商工組合 AMS山梨青年部)
監 事	矢 部 兵 衛 (協同組合山梨異業種交流青中倶楽部 青年部会)

情報BOX

1 情報

山梨県からのお知らせ

緑のカーテンの取り組みを募集します

山梨県では、緑のカーテン運動を広めていくため、家庭や事業所・学校等を対象として緑のカーテンの写真や体験談を募集します。

- 優秀事例作品には記念品を贈呈
- 応募者の中から抽選で20名に粗品進呈
- 応募いただいた作品は県のHP等で紹介

応募様式等詳細につきましては、山梨県HPをご確認ください。

<https://www.pref.yamanashi.jp/energy-seisaku/green-curtain.html>

山梨県 緑のカーテン

1 対象者及び募集部門

- ・個人部門：一般住宅、アパート、マンション等において個人が取り組んだもの
- ・団体部門：①企業、団体、②保育園、幼稚園、③学校

2 応募資格

令和元年度に県内で緑のカーテンに取り組んだ個人及び団体

3 応募期間

令和元年8月1日(木)から9月30日(月)まで

4 応募方法

応募様式に必要な事項を記入し、完成した緑のカーテンの写真を添付のうえ、持参・郵送・Eメールにより山梨県エネルギー政策課に提出してください。

お問い合わせは

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 山梨県エネルギー局 エネルギー政策課 省エネ・温暖化対策担当
E-mail : energy-seisaku@pref.yamanashi.lg.jp TEL : 055-223-1506 FAX : 055-223-1505

県内優良企業と大学生とのマッチング ～インターンシップ交流会を開催～

中央会は、6月30日(日)にベルクラシック甲府において「インターンシップ交流会」を開催した。このイベントは山梨県からの委託事業の一環で行われたもので、当日は山梨県内でインターンシップを行う企業18社と県内外の大学、短大、専門学校の学生および外国人留学生等50名が参加した。

第1部のセミナーでは、(株)マイナビ今村芳朗山梨支社長から「インターンシップに向けての心構え」と題した講演が行われた。今村氏は「就職活動や社会人生活を見据える中で、インターンシップ参加の事前準備と参加後の振り返りをその後の就職活動にどのように活かすかが大事。積極的に多くのことを経験してほしい。」とエールを送った。

第2部の交流会では、学生が興味のある企業のブースを訪問し、企業の担当者から会社概要やインターンシップの内容について説明を受けた。学生には自由な服装での参加を、企業にはブースの装飾と女性社員を含めた複数での参加を呼びかけたこともあり、各ブースでは明るく活気ある雰囲気での交流が図られた。参加企業のインターンシップには延べ30人の申し込みがあった。

学生からは「働いてみたいと思えるような丁寧な説明を聞くことができた」、企業からは「積極的な学生が多く交流できて良かった」との今後につながる感想があった。



多くの学生が積極的に企業ブースを訪問

インターンシップ交流会は11月に2回目の開催を計画しており、中央会では、引き続き県内企業でのインターンシップ(就労体験)を通じた県内大学生等の県内就職や県出身大学生等のU・Iターン就職を促進のため、インターンシップ受入企業と学生とのマッチングを支援していく。

インターンシップに取り組みたい、学生に企業の魅力をPRしたい企業の方はぜひ中央会までご相談ください。



(株)マイナビ
今村山梨支社長

広がるキャッシュレス決済の動向を知る

～通常総会と研修事業を開催～

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(坂本義博会長 会員39団体)の令和元年度通常総会が6月25日(火)開催された。

組合等の事務局の役職員で組織する当協議会は、事務局の機能強化を通じた組合事業の活性化を目的に、中央会の様々な支援事業を活用して組合事務局の資質向上と会員相互の交流事業を実施している。

総会では、中央会の前嶋健佐専務理事から「組合事務局による組織発展のための取り組みを中央会として一緒にサポートしていく。」との来賓あいさつがあり、続く議案審議では、平成30年度事業報告・決算、令和元年度事業計画・予算が審議され、今年度も積極的な事業展開を行うことが決定した。

また、理事2名の退任に伴う補充が行われ、山梨県自動車整備商工組合の石原美千老専務理事、山梨県絹人織物工業組合の内田誠事務局長が新理事に選出された。

総会終了後には、富田良治中小企業診断士を講師に、「キャッシュレス決済導入のポイント」をテーマに研修会を実施した。



研修会には30余名が出席

現在、社会全体でキャッシュレス化が急速に進行しており、小売業などの消費者を対象にした分野だけではなく、BtoBの分野でも電子決済が増えており、手形の取引は20年間で1/12に減少している。

富田診断士からは「10月の消費増税と併せて施行される“キャッシュレス・消費者還元事業”により、消費者のキャッシュレス決済の需要は一層進むと考えられる。キャッシュレスに対応しても売上増加、顧客増加にはつながらないが、対応への遅れが客離れにつながるリスクとなる可能性がある。キャッシュレス決済への対応は避けて通れないので、各業者は状況を見極めてできるだけ早い対応を。」との説明と助言があった。

■ 事務連絡協議会について、またはキャッシュレス決済の導入等に関するお問い合わせは中央会連携組織課まで ■



講師 中小企業診断士
富田良治氏

外国人技能実習生受入制度の適正な実施に向けて 通常総会と講習会を開催

山梨県外国人実習生受入組合連絡協議会

山梨県外国人実習生受入組合連絡協議会(川手正紀会長 会員数7組合)は、6月27日(木)にホテルクラウンパレス甲府で、令和元年度の通常総会を開催した。

総会では、前年度の事業報告・収支決算、今年度の事業計画・収支予算が原案のとおり承認決定された。今年度の事業計画では研修会や情報交換会の実施に加え、中央会の補助事業を活用しながら技能実習生受入制度の適正な運用のために組合、組合員の外国人技能実習生に係る役割別講習(組合役員、外部役員等)などに積極的に取り組んでいくこととした。



挨拶する川手会長

川手会長は6月24日にテレビで放映された番組に触れ、「今治市のタオル縫製工場で婦人服や子供服の製造という名目のベトナム人技能実習生たちが実際にはタオルの製造をさせられ、過労死ラインの2倍以上である180時間にも上る残業時間に対して支払われる残業代は40時間分のみ、仕事中に脳出血で倒れ意識不明の実習生がいたことが報道された。組合等が監理団体として技能実習生を受け入れる企業を監理・指導し、不正行為の防止に努めていかなければならない。」と語った。

総会終了後は、山梨県総合政策部外国人材受入支援課の高橋直人課長から「山梨県における外国人労働者の実態と課題」をテーマとした講演が行われた。講演では、今年の4月に新たな在留資格に「特定技能」が創設され、山梨県では今年度、外国人の受け入れ促進施策の総合調整窓口として「外国人材受入支援課」が新設され、「外国人材の受入促進」と「外国人との共生推進」の2本柱で施策を推進していくなどの説明や本県の在留外国人の状況などについて話があり、参加者は熱心に聞き入っていた。



講習会の様子

地球誕生から46億年。気の遠くなるような時間をかけて、地球は生命の揺りかごと呼ばれる大自然を創ってきました。地球の歴史と較べれば人類が生まれたのは700万年前、ほんの僅かな過去にすぎません。

産業革命などを経て人が自然を搾取し、破壊し、自然をコントロールできると大きな誤解をし始めてから、僅か200数十年しか経っていません。まさに目の前で手を叩くその一瞬ほどの時間です。

その僅かな間に、地球は大きく変わってしまいました。私たちが育んでいた大地には家や畑や工場が立ち並び、人間は利便性と引き換えに毎年史上初、観測史上初と言われるような環境破壊や異常気象を選択したのです。

人は便利な生活を体験すると、元に戻ることはできないと言います。私たちトラック業界も、人々の生活を豊かにし利便性に大きく貢献しています。だから私たちは考えるのです。こんな文明を築き上げてきた人々の多くの力が集れば、この自然環境を守れるはずだと。

子供の世代、孫やその後の世代まで、この素敵な風景を届けられると。

わたしが大人になっても
おばあちゃんになっても
この素敵な自然は
残っていますか？



（一社）山梨県トラック協会

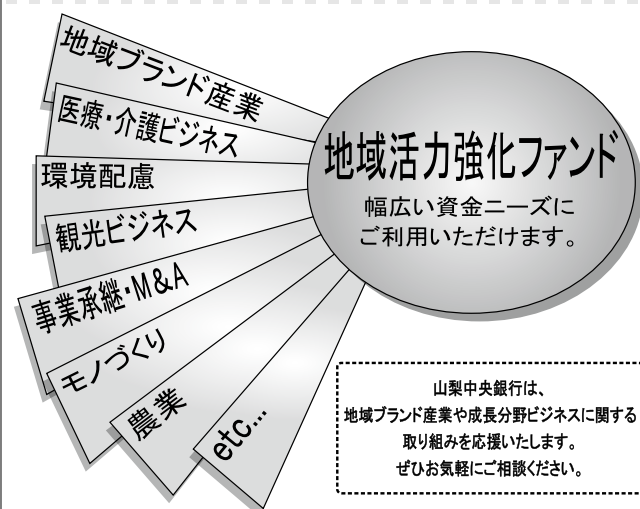
平成30年度環境標語最優秀作品

トラックが繋ぐ
みんなの暮らしと 豊かな自然

（一社）山梨県トラック協会・（公社）全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局 山梨運輸支局

Yamanashi Chuo Bank <https://www.yamanashibank.co.jp/>

山梨中銀 地域活力強化ファンド



※ 審査の結果、ご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

◎ くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。

0120-201862(照会コード:9)

受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)



次世代育成支援対策推進センター(山梨県中小企業団体中央会)よりお知らせ

次世代育成支援対策推進法に基づく 一般事業主行動計画を策定しましょう!

くるみん
認定
を目指して
みませんか?

常時雇用する労働者101人以上の企業は、労働者の仕事と子育ての両立を図るための「一般事業主行動計画」を策定・届出・公表・周知することが義務付けられています(100人以下の企業は努力義務)。行動計画を策定し、ぜひ認定に向けて取り組んでください。

一般事業主行動計画とは

企業が、子育てをしている従業員の仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などの取組を行うために策定する、

①計画期間 ②目標 ③目標を達成するための対策と実施時期 の3つの事項を定める計画のことです。

事業主がすべきこととは

- 1 一般事業主行動計画の策定
- 2 一般事業主行動計画を社外に公表
- 3 一般事業主行動計画の労働者への周知
- 4 一般事業主行動計画策定届を労働局に届出
- 5 一般事業主行動計画の実施

くるみん認定・プラチナくるみん認定とは

- 行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣(山梨労働局長へ委任)の認定(くるみん認定)を受けることができます。



山梨県では、くるみん17社、プラチナくるみん1社が認定されています

- 認定を受けると認定マーク(愛称:くるみん)を、商品、広告、求人広告などに付けPRすることができ、企業イメージアップ、労働者のモラルアップやそれに伴う生産性の向上、優秀な労働者の採用・定着が期待できます。
- くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が、一定の要件を満たした場合、必要書類を添えて申請を行うことにより、優良な「子育てサポート」企業として厚生労働大臣(山梨労働局長へ委任)の特例認定(プラチナくるみん認定)を受けることができます。

※一般事業主行動計画の計画のモデル例や届出・認定申請などの様式は、山梨労働局のホームページからダウンロードできます。

山梨労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/yamanashi-roudoukyoku/>

山梨県信用保証協会は、 皆さまに支えられ創立70周年を迎えました。



本店(甲府)
〒400-0035
山梨県甲府市飯田
2-2-1
055-235-9700

富士吉田支店
〒403-0004
富士吉田市下吉田
2-31-14
0555-22-0992

山梨県信用保証協会
0120-970-260

山梨県信用保証協会は令和元年5月に創立70周年を迎えました。

これからも、県内中小企業・小規模事業者の総合的な支援機関としての役割を果たすよう努力してまいります。

今後とも、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

企業間の 人材マッチングを 支援しています。

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、
全国ネットを通じて、人材の確保、
従業員の再就職支援に
努めています。

全国ネットの人材情報

企業間の出向・移籍のお手伝いを47都道府県の事務所で行っています。

確かな実績と信頼

昭和62年に経済・産業
団体と国の協力で設立さ
れた公益財団法人です。

幅広いデータベース

ハローワークや経済団体
などと連携し豊富な人材
情報を提供しています。

相談等の費用は無料

情報の提供、相談、あっせ
んについての費用はかか
りません。

安心と信頼のネットワーク

公益財団法人 産業雇用安定センター 山梨事務所

インターネットで最新の人材情報をどうぞ
URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

甲府市丸の内2丁目16-4 丸栄ビル5階 TEL.055-235-6236 FAX.055-235-6252



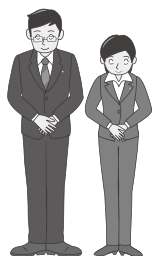
山梨県中小企業団体中央会事務局組織・機構図

(令和元年7月1日)

専務理事 まえしま けんすけ
前嶋 健佐

事務局長 知見寺好幸

事務局次長 三井 成志



総務課

(兼)課長 三井 成志 課長補佐 輿水 一篤 課長補佐 臼田あけみ

連携組織課

課長 堀内 修 課長補佐 保坂 淳 主任 神山 佳之 主事 鈴木 範行

地域開発課

課長 古屋 浩昭 課長補佐 笠井 靖子 嘱託 向山 公夫

労働対策課

課長 古屋 孝明 主任 齊藤 寛之 嘱託 小川 知美 嘱託 仲澤 一美

業務管理課

(兼)課長 古屋 孝明 (兼)課長補佐 臼田あけみ 主事 清水 翔 嘱託 深沢知佐都

ものづくり支援センター

センター長 山本 良一 主任 千野 哲宏 主任 仲澤 秀樹

嘱託 清水 晃一 嘱託 須田 実 嘱託 市川 賢 嘱託 最賀 実

嘱託 矢崎 秀彦 嘱託 石川 一 嘱託 大沢 昭彦 嘱託 林 裕二

嘱託 横内 宏美 嘱託 古屋 勝也 嘱託 栗林 毅 嘱託 斉藤 静江

富士・東部事務所

所長 小佐野時雄

New!

従業員のIT力を強化して 生産性向上を目指しませんか？

基礎的 IT セミナーのご案内



第4次産業革命による技術革新の進展により、AI、IoT、RPAなどのIT技術の利用が進められる中、中小企業がIT技術を活用した事業展開を図るためには、全ての従業員がIT理解・活用力を身につけることが求められています。基礎的ITセミナーは、中小企業で働く社員の方が、IT技術の進展に対応するために必要な知識を習得する職業訓練です。

【基礎的ITセミナーのポイント】

- ◎ 初任者層から中堅・管理者層まで幅広い階層向けのコース設定。◎ 社内研修や新入社員研修にも活用可能。
- ◎ 6人以上集まれば日程やカリキュラム内容等、個別企業の御要望に応じたオーダーコースも実施可能。
- ◎ 条件を満たせば、人材開発支援助成金が利用可能。◎ 国が行う事業なので、格安な受講料。

厚生労働省委託事業

訓練コース	実施日・時間	受講料
業務に役立つ表計算ソフトの関数の活用	8/26 (月) 9:30~16:30	2,000 円 (税別)
ビッグデータの概説	8/28 (水) 13:30~16:30	2,000 円 (税別)
正確に伝わる技術文書作成のポイント	9/ 4 (水) 9:30~16:30	2,000 円 (税別)
品質管理に役立つグラフ活用	9/11 (水) 9:00~16:00	2,000 円 (税別)
RPAによる業務の自動化	9/27 (金) 9:00~12:00	2,000 円 (税別)
ムダを発見するための業務とデータの流れの見える化	9/25 (水) 9:00~16:00	3,000 円 (税別)

- ▷ 企業（事業主、担当者）様からお申込みください。（このセミナーは、企業の生産性向上を目的としています。）
- ▷ 詳しい内容につきましては、当センターHPをご覧ください。下記までお気軽にお問い合わせください。

生産性向上人材育成支援センター TEL 055-242-3066

〒400-0042 山梨県甲府市中小河原町 403-1（ポリテクセンター山梨内）IT セミナー担当：高宮

